

学長の業績評価について

令和 7 年 10 月 28 日
京都府立大学学長選考会議

京都府立大学学長業績評価規程に基づき、塚本 康浩 学長の令和6年度の業績評価を行いましたので、同規程第6条の規定により、下記のとおりその結果を公表します。

記

1 評価方法

学長から提出のあった「所信表明に係る業務の実施状況（学長の自己評価）」について、学長ヒアリングを行い、評価項目の「所信表明書等の達成状況」を確認した。

2 評価結果

京都府立大学の学長として、学内外の声に耳を傾けて、その職責を誠実に果たし、大学運営・改革にスピード感をもって取り組み、着実に成果を挙げているものと高く評価できる。

（特記事項）

- 令和6年4月からの学部学科再編（5学部12学科）や食の文化学位プログラムの設置に引き続き、公共政策学部（研究科）の社会科学部（研究科）への名称変更（令和8年4月）に向けて、学長が先頭に立って、文部科学省との事前協議を行うなどの取組を進めた。
- 農林業分野の府立高校（農芸高校と北桑田高校）を令和8年4月に系属高校とする協定を京都府教育委員会と締結するとともに、入試の系属校枠などの調整を進めた。
- 施設整備予算の獲得に向けて、京都府と精力的に調整を行い、体育館やグラウンド等の施設整備検討費（基本計画策定）の予算化を進めた。
- 時代の変化に即して、DX化・国際化の推進、ゼロカーボンキャンパス推進センターの設置などを精力的に進めた。

（参考）

○ 評価のスケジュール

- 10月 7 日（火） 実施手順の協議・決定
- 10月28日（火） 学長ヒアリングの実施
評価内容の協議、評価結果のとりまとめ

○ 学長選考会議委員

- 八田 英二（学校法人同志社 総長・理事長）
- 田中 誠二（学校法人大和学園 理事長）
- 藤井 和男（京都府公立大学法人 理事・事務総長）
- 川分 圭子（京都府立大学 文学部長）
- 服部 敬子（ 同 公共政策学部長）
- 古田 裕三（ 同 生命環境科学研究科長）